

迟 军 编选

大学 日语 文选

下 册

北京大学出版社

大学日语文选

(下册)

迟 军 编选

北京大学出版社

大学日语文选(下)

迟 军 编 选

责任编辑: 许耀明

· *
北京大学出版社出版

(北京大学校内)

辽宁大连外国语学院印刷厂印刷

新华书店北京发行所发行 各地新华书店经售

· *
787×1092毫米 32开本 12.25印张 267千字

1987年3月第一版 1987年3月第一次印刷

印数: 册00001—10,000册

统一书号: 9209.77 定价: 2.35元

前 言

随着我国对外开放政策深入和四化建设的蓬勃开展，社会上学习日语的人日益增多，国内虽已出版了不少有关参考书，但仍远远满足不了已具有相当基础的广大日语学习者的需要。另外，大学日语专业的学生对现有教材也有吃不饱之感，鉴于这种情况，编选了这套文选，以便满足广大读者的迫切需要。

本书所收文章是从日本国语课本和日本文学大系中精选的，有诗歌、散文、随笔、传记、游记、小说、报告文学、文学评论及书信等。每篇都有适当的注释、作者及其作品简介，并附有参考译文（均编选者所译）。原文语言规范，富有思想性、艺术性、知识性、科学性及趣味性。这套文选不仅对提高读者日语水平颇有裨益，也是可供读者欣赏日本近现代各类文学作品的精品。

在编选过程中，大连外国语学院有关老师，在选材等各方面给予热情帮助，在此谨表衷心的感谢。由于编选者水平有限，难免有不当之处，深望广大读者指正、批评。

编 选 者

一九八五年十二月

目 录

• 诗歌 •

鶯	千家元麿 (1)
木	千家元麿 (2)
榊	千家元麿 (3)
妹へおくる手紙	山之口貌 (6)
マクシム	菅原克己 (9)

• 随笔 •

友情について	矢内原伊作 (14)
批判的精神	岩崎武雄 (24)
沈黙の世界	加藤秀俊 (35)
ラスコー洞窟の壁画	中谷宇吉郎 (44)
明日への希望について	矢内原伊作 (52)

• 散文 •

風景との出会い	东山魁夷 (59)
北の森から	辻 邦 生 (66)
神州という言葉	外 山 茂 (75)

• 书信 •

夏目漱石の、芥川竜之介へおくる手紙	
.....	夏目漱石 (82)

• 语言 •

言葉の力	大岡 信 (85)
文章とは何か	谷崎润一郎 (91)

・ 传记 ・

宮沢賢治……………森庄巳池 (107)

・ 游记 ・

太陽の沈まぬ国……………本多胜一 (127)

・ 报告文学 ・

野麦峠……………山本茂実 (146)

幻の錦……………只野哲 (177)

・ 小说 ・

赤蛙……………島木健作 (200)

山原乙女……………火野葦平 (221)

風琴と魚の町……………林芙美子 (266)

夏の葬列……………山川方夫 (322)

・ 戏剧 ・

木龍うるし……………木下顺二 (338)

・ 文学评论 ・

歌声よ、おこれ……………宮本百合子 (365)

うぐいす

鶯

せんけもとまる
千家元麿

ゆうすい わかば おく
幽邃な若葉の奥で

鶯が静かに歌っている

彼女は落着き拂って①

みりよく とどろ
魅力のある聲を楽しく響かしている

てんよ びおん
天與の美音を浪費せず

な しんび
時々啼くのが神秘にきこえる

黄 鶯

在幽暗深邃的嫩叶丛中，
有一只神态自如的黄莺；
她在轻轻地神秘地歌唱，
歌声是那么悦耳、响亮、迷人；
她不时地演唱起神秘的歌儿，
为了不辜负一副天赐的金嗓子。

①落着き拂って…／意为：非常沉着。原词为落ちつきはらう。

木

千家元麿

僕は枯^こ死^ししない木だ。
僕はいつも花^{はな}咲^ざき緑^もに燃^もえ①、
制作^{かじつ}の果^は実^{じつ}を枝も重くぶらさげる木だ。
俺^{われ}を枯^からそうと吹く風よ、
俺は枯れないぞ！
枯葉一枚落さないぞ！

树

我是一棵不会枯死的树，
总是叶绿花红，硕果满枝。
欲置我于死地的风哟，听着：
我将不死，万古长青，
就连一片树叶，
也决不枯黄、凋落！

①此句中的^に表示原因。该句意为：我总是由 于叶绿花红而生机盎然，但在翻译上可与下句结合起来考虑、推敲，并为一句译 似乎更为 合适：“我 总是叶绿花红，硕果满枝”或“我总是枝叶 绿 翠，春华秋实。”

櫟

千家元麿

野道の一本の櫟

嵐の中に彼は立っている

孤独で、葉をむしりとられて

壮巖に老いたる腕を天に突き出し

北風に向って争っている

北風は彼を目がけて①戦いを挑^{いど}み

一日闘って夕暮になると引きあげる

傷手を負った櫟は血のような夕日を浴びて

寂しい戦場に立っている

夜の逆襲^{きやくしゅう}を警めながら

異様に彼の姿は自分を涙^{なみだ}ぐます②

野中の王者、一本のふしくれ立った櫟の木

①……を目がけて／把…做为目标。

②自分を涙ぐます／此句意为使自己深受感动。なみだぐます的ぐます是接尾词ぐむ的使役态。ぐむ接在名词后，就可变成一个自动词，意为“充满……”，“或呈现出……”。

榲 树

在乡野道旁有棵榲树，
在风暴中岿然不动，
纵然叶子全被吹光，
但仍向天空伸出苍劲的臂膀，
与凶恶的北风顽强相抗！
黄昏了，一场紧张的战斗结束，
风魔消遁，而榲树获胜，
在血红的夕阳中巍然屹立，
似乎在警惕着风魔的再袭。
它那布满伤痕但不屈的雄姿，
不禁使我深受感动，热泪盈眶。
呵，榲树，你威武地立在大地上，
是田野之王！

作者及其作品简介：

千家元麿（1888——1948）诗人。他的诗大多反映下层劳苦人民的生活和思想感情，对他们的不幸命运寄予深深地同情。他的诗语言平易，读起来亲切。主要诗集有《我看见了》、《夏草》、《苍海诗集》等。

《树》选自筑摩书房出版的《现代日本文学大系》41

集。在这首小诗里，诗人以树自喻，不仅表达了自己对生存价值的自信，而且，也充分体现了诗人对邪恶势力的不屈精神。《榭树》和《黄莺》选自岩波文库出版的《千家元麿诗集》，诗人通过对风暴中的孤榭的描绘，歌颂了一种可贵的精神，这就是：决不向恶势力低头，屈膝投降，而是针锋相对，做不屈的斗争。《黄莺》则塑造了珍惜春光、不浪费金嗓儿的黄莺的优美、动人的形象。

妹へおくる手紙

やまのぐちばく
山之口貌

なんといふ妹なんだらう①

——兄さんはきつと成功なさると信じてゐます。とか②

——兄さんはいま東京のどこにゐるのでせう③。とか
ひとつてによこしたその音信のなかに
妹の眼^めをかんじながら
僕もまた、六、七年ぶりに手紙を書かうとはする④の
です

この兄さんは

成功しようかどうか結婚でもしたいと思ふので

①なんといふ妹なんだらう／「なんという」，在此表示程度之深，相当于汉语的“多么”之意，往往与だろ（或でしょう）相互应，意为“多么……呀！”如：なんという美しい花でしょう（多么美丽的花呀！）；「なんだらう」的「ん」是「の」的音变，常出现在口语中，「の」在此表示说明某种情况之意。其中といふ的ふ和だらう的ら是历史假名，分别相当于う和ろ。

②とか／表示列举。往往以…とか…とか…的形式出现，意为…啦…啦…。

③（で）せう／为旧时写法，现代日语的写法是（で）しょう。

④書かうとはする／意为要（或想）写。「書かう」为旧时写法，现代日语的写法为「書こう」。「は」是表示强调。

す

そんなことは書けないのです

東京にゐて兄さんは犬のやうにもものほしげな顔してゐます

そんなことも書かないのです

兄さんは住所不定なのです

とはますます書けないのです

如実的ないつさいを書けなくなつて

とひつめられてゐるかのやうに①身動きもできなくなつてしまひ 満身の力をこめてやつとのおもひで②

書いたのです

ミンナゲンキカ

と、書いたのです。

(詩集「^{し べん}思辨^{その}の苑」による)

作者及其作品简介:

山之口 貌 (1903——1963) 诗人。冲绳人。本名山口重三郎。他是一个流浪诗人，深尝人生艰难之苦。他的诗富有讽刺性，语言质朴，感情真挚。《给妹妹的信》可以说就是其中的一篇佳作。作品不仅生动、含蓄地反映了诗人的穷困潦倒的窘境，也巧妙抒发了诗人难言的苦衷，从而，可以看出一个诗人生活在资本主义社会里的坎坷和不幸。主要作品有《山之口貌诗集》、《金枪鱼和沙丁鱼》等。

①……かのやうに／前接动词连体形，做状语用，意为“似乎……，”或“好象……”。

②やつとのおもひで／词组，意为横下心；终于下定决心。

给妹妹的信

多么天真的妹妹哟！
自信哥哥在外面混得一定不错；
还以为哥哥常住在繁华的东京市。——
在她托人捎给我的音信中，
我感到了她那双炯炯发光的眼睛！
我已有六年没有给她音讯，
我应写信告诉她我的处境：
你的哥哥不论失败还是成功，
都想结婚，建立一个幸福家庭，
但我不能这样写，不能；
你的哥哥好象狗一样，
没脸没皮，到处觅食，
但我不能这样写，不能；
你的哥哥没有固定住所，四下流浪，
但我不能这样写，不能！
此刻，我好象被先生提问的小学生，
被问得张口结舌，无话可答。
总之，我不能如实地相告，
只好鼓起勇气，一横心，
写上一句：全家可安好？

マ ク シ ム

すがわらかつみ
菅原克己

誰かの詩にあったようだが
誰だか思いだせない。
労働者かしら、
それとも芝居のせりふだったろうか。
だが、自分で自分の肩をたたくような①
このことばが好きだ、
〈マクシム、どうだ、
青空を見ようじゃねえか〉

むかし、ぼくは持っていた、
汚れたレインコートと、夢を。
ぼくの好きな娘は死んだ。
ぼくは餓^{くひ}になった。
餓になって公園のベンチで弁当を食べた。
ぼくは留置場に入った。

①自分で自分の肩をたたくような……／意为好 象 自 己 拍自己肩膀——
鼓励自己……。 「ような」为比 况 助 动词「ようだ」的连体形，表示好象之
意。

入ったら金網の前で
いやというほど殴られた。
ある日、ぼくは河っぶちで
自分で自分を元気づけた、
〈マクシム、どうだ、
青空を見ようじゃねえか〉①

のろまな時のひと打ちに、②
いまでは笑ってなんでも話せる。
だが、
鹹も、ブタ箱も、死んだ娘も、
みんなほんとうだった。
若い時分のことはみんなほんとうだった。
汚れたレインコートでくるんだ
夢も、未来も……。

言ってごらん、
もしも、若い君が苦勞したら、
何か^{おちめ}落目で
自分がかawaiiそうになったら、
その時にはちょっと胸をはって、

①見ようじゃねえか／意为看看吧，何不看看呢！よう接一段动词未然形后表示推量、劝诱或意志。这里表示劝诱之意。じゃねえ是ではない的俗语，表示否定，+か这个疑问终助词后，则表示委婉的肯定。

②のろまな時のひと打ちに／意为：在动作缓慢时被猛地一击。这里的_に是表示原因，也就是说，是表示下行诗中「話せる」的原因。

むかしのぼくのように言ってごらん、
くマクシム、どうだ、
青空を見ようじゃねえか

作者及其作品简介：

菅原克己（1911～）诗人。宫城县人。战前曾因从事地下党活动，被捕入狱过。主要诗集有《手》、《太阳的心》、《远与近》、《太阳的门扉》等。他的诗内容积极向上，语言质朴无华，在一定程度上，表现了诗人的无产阶级思想感情。

《马克西姆》一诗写的是诗人自身的生活体验，语虽不惊人，但通过朴朴实实的诗句却生动地体现了诗人的可贵精神，这就是：在生活的激流中不论遇到什么困难挫折，不论身处怎样的囹圄，都决不气馁，决不屈服，而勇于前行。

马克西姆

好象出自谁的诗句里，
但指谁？可回忆不起，
也许是工人，或者是
一出戏中的台词？
反正我喜欢这个名字，
它激励着自己：

“马克西姆，莫恢心，莫丧气，
昂起头来，望蓝空吧！”

从前，我一无所有，